

『ハロウィンパーティ』を開催しました！

11月1日(土)の午後、生涯学習センターの研修室1・2にて、小学校1年生～3年生を対象にハロウィンパーティを開催しました。ダスティン先生を中心に外国人ボランティア、40人あまりの参加者、協会スタッフなど総勢60人以上が集い、大いに盛り上がりました。

パーティの開始時間まで「ダック・ダック・グース」というハンカチ落としに似たゲーム、そしてパーティの開始を告げるとてもリズムカルなチキン・ダンス。初めて出会った子どもたちもすぐに打ち解けました。40人の子どもたちを4つのグループに分け、外国人ボランティアによる以下の4つのゲームで楽しみました。

- ・ミュージカルチェア (いす取りゲーム)
- ・白布を巻いてミイラになって目玉に見立てたピンポン球を運ぶ「リレー」
- ・ハロウィンにちなむ言葉の「カルタ取り」
- ・何が箱に入っているかをさわって当てる「秘密の箱」

それから、ちょっと部屋を暗くしてダスティン先生からハロウィンのお話。出てきたお化けをJack-O'-Lantern (ジャック・オー・ランタン) と子どもたちの仮装で退治。最後はお決まりの「Trick or Treat (トリック・オア・トリート)！」

協会としては初めてのハロウィンパーティ、短い期間の準備で大変なこともありましたが、子どもたちも喜んでくれてとても楽しい企画になりました。協力してくださったボランティア、スタッフの皆さん、そしてダスティン先生、ありがとうございました。



▲みんなで仮装して楽しみました！

『クリスマスパーティ』を開催します！

ダスティン先生といっしょにクリスマスの歌、お話、お菓子の家作りなどをして、楽しみませんか。

日 時：12月13日(土) 午後1時30分から4時30分まで

※午後1時から受付を開始します。

場 所：生涯学習センター料理室

対 象：小学校4年生～6年生

定 員：20名(先着順)

材料費：実費(会員家族：300円、非会員：600円)

申込・問合せ先：杉浦(37-9191)まで。



海外ボランティア活動報告

協会では毎年、フィリピンのピナトゥボで支援活動をする人に渡航費などの助成を行っています。最初に学生ボランティアとして千村友輝さんが派遣されたのが2007年2月。これまでに延べ11名の大学生が現地で精力的に活動してきました。

今回、OBの皆さんに集まっていただき、それぞれの体験をもとにした報告会を10月26日(日)午後1時から、くすのきの家で開催しました。

加藤里奈さん(2008年派遣)、出野脩さん(2012年派遣)、秦野吾朗さん(2014年派遣)の



▲報告会ではそれぞれが見聞きしたことを話し合いました。

3人を講師に迎え、海外のボランティア活動の体験で得たこと、考えさせられたことなどを話していただきました。

＜加藤さん＞ 2001年に岩倉市民の皆さんの善意のもとに建設された図書館「ともだち」が、ほとんど使われておらず、蔵書も荒れ放題だったことに驚き、みんなで整理をしました。フィリピンの国勢や人柄など、その国の良さを身をもって理解できたことが社会人になって仕事の中でも生かされました。

＜出野さん＞ それまでに2回、小学生の時に現地でホームステイをしましたが、思いをうまく伝えられませんでした。コミュニケーションのツールとしての英語の必

要性を感じ、自分なりに勉強してボランティアに臨み、子どもたちに日本語を教えたり、折り紙を折ったり、自分が努力してきたことがすべて出せました。8年ぶりなのにグタの家族が自分ことを覚えていてくれてうれしかったです。

＜秦野さん＞ 留学体験や海外で多くの外国人との交流も経験していましたが、訪れたのは都市部ばかりで、今回のように「村」に滞在したのは初めてで、とても新鮮でした。現地の人に接してみて、フレンドリーな対応や子どもたちに笑顔が絶えないことに感動しました。子どもたちの幸せそうな姿を見ていると、幸せの感じ方は国によって違うのだと強く感じさせられました。

『ピナトゥボ』で『ボランティア』をしてみませんか？

本年度も協会では、ピナトゥボでボランティア活動してみたいという方に助成をします。ボランティアに関心のある方、海外で見聞を広めてみたい方、ふるってご応募ください。

【資格・条件】 岩倉市国際交流協会の会員(新規加入を含む)であること。

フロリダブランカ市グタ地域でホームステイすること。

大学生以上で、自力で渡航、滞在ができること(ホームステイ先は協会で斡旋)。

現地の学校や児童養護施設などで二週間以上のボランティア活動を行うこと。

帰国後においても協会の活動に参加・協力し、交流成果のPRに努めること。

2015年3月までに事業を終了すること。

【助成対象額】 航空運賃の半額及び施設等で使用する教材や消耗品、施設等への手土産代、荷物の運送費、マニラ空港からグタまでの交通費などの内で協会が認める額。

問合せ先：内藤(66-7347)まで。

「日本語ひろば岩倉」で教えてみて

協会では、市内外の外国人を対象に日本語を教える教室である「日本語ひろば岩倉」を実施しています。以下、今年8月より「日本語ひろば岩倉」で日本語を教えはじめた、岡谷康昭さんの体験記です。

私はこのボランティアに参加してまだ間もない20代の男性会社員です。参加したきっかけは、日本語を教えたことがなく興味が沸いたこと、人と話すのが苦手なので日本語を教える過程でコミュニケーション能力を養えたらいいなということでした。

出席されている生徒さんの年代や職業はバラバラで、実習生の方も多くみえます。実際に日本語を教えてみると普段使っている日本語なのに初めて知ることが多くあり、とてもためになります。また、会話を通じて相手の国のことを知ることができ、異文化交流にもなります。さらに異国の地であるこの日本に暮らし、かつ仕事をしながら日本語を勉強されていることに、とても感心させられます。

このように、この活動では自分が人に与えるものよりも得られるものの方が多いいろいろな経験ができると思います。日本語を教える資格や特別な技術を持っているわけではないので、最初は不安でしたが、先輩のボランティアの方々がそれぞれの体験をもとにアドバイスをしてくださり、少しずつ不安もとけ、楽しくなってきました。

みなさんも日本語の勉強を通して外国の方と交流してみませんか。

教室開催日時：第1～4水曜日 午後7時30分から9時まで

場 所：生涯学習センター 第3・4会議室

問 合 先：桜井 (090-8320-9591) まで。

特集 世界の遊びを紹介します vol.5 ～コンギ

今回は韓国の伝統的な遊び、「コンギ」を紹介します。「コンギ」は写真のような直径1cmくらいの玉を使う、お手玉のような遊びです。ルールは以下の通りですが、分かり辛いので、手近な小石や豆を使ってやってみるとよくわかるかもしれません。

- ①コンギを5つ、場（机、床等）に置き、1つ手に取って宙に放り上げ、場のコンギを1つ拾ってからキャッチします。
- ②これを繰り返して全部手のひらに集まったら一旦全て場に置き、今度は1つ放った後2つ拾うようにします。
- ③全部拾い終わったら、また全て置き、今度は1つ放って3つ拾い、残った1つも同様にして拾います。
- ④手にある5つのコンギから1つ放って、残りの4つを場に置いてからキャッチします。
- ⑤次は、コンギを1つ放った後、4つのコンギを全て拾い、できたら手の中にある5つのコンギを全て放り上げ、手の甲に乗せます。
- ⑥手の甲に乗っているコンギを放り上げ、できるだけ多く掴むようにします。掴めた数だけ得点です。
- ⑦までに失敗があれば交代です。次の順番が回ってきた時は失敗したところからです。慣れるまでかなり難しいですが、慣れてくると楽しいですよ。友達や家族と練習して楽しみましょう！



▲「コンギ」で使う玉

≪ホストファミリーを募集しています！≫

協会では、ホームステイとホームビジットを行っています。外国人を自分の家に招いて生活体験をしてもらうもので宿泊を伴うものをホームステイ、宿泊を伴わない短時間の家庭訪問をホームビジットといいます。また、ホームステイ、ホームビジットをする外国人をゲストといい、受け入れる家庭をホストファミリーといいます。ホームステイとホームビジットの目的は、ゲストが日本の家庭生活をホストファミリーと共に過ごす事により、家庭の真の姿を理解してもらうとともに、お互いの国の風俗習慣に触れて、相互理解を深める事にあります。

ゲストは主にJICA（国際協力機構）の研修生や名古屋芸大の留学生の方々です。毎年15名ほどのゲストをお招きし、5月は土曜日の夜に一泊しての「こいのぼりづくりとホームステイ」、秋にはホームビジットを行っています。今年の秋は、ホームビジットの代わりに10月4日、5日に市民体育祭を体験していただこうと、JICAから12名の方を1泊2日のホームステイに



▲10月4日の前夜祭の様子

お招きしました。4日の夜は一品持ち寄りの前夜祭を開催し、美味しそうな料理に皆で舌鼓を打ちました。イスラム教の方のために肉の入っていない料理もたくさん用意されていて、ゲストの方々には興味深そうにいろいろ質問しながら珍しそうに食べていました。皆さんすっかり打ち解けて楽しい時間を過ごされたようです。5日は残念ながら雨天のため体育祭は取り

止め、楽しみにしていた綱引きも夢と終わりました。ゲストもホストも本当にながかりしましたが、その反面では、「ゆっくり、じっくり話をする時間があってよかった。」というお声も聞きました。

ホームステイプログラムは、当協会が発足した平成3年にスタートし、24年間続いてきました。これは、ひとえにホストファミリーの方々のご協力の賜物と深く感謝しています。

おもしろそうと思ったらぜひ、一度ホストファミリーになって楽しい体験をご一緒にしてみませんか。思いもしない遠く離れた国にお友達が出来るともかもしれませんよ。お気軽に下記までご連絡ください。

申込先：出野 (37-2495) または、井上 (66-3192) まで。

会員継続手続き及び新規会員申込手続きのご案内

事業は会員皆さまの会費と岩倉市国際交流事業補助金で運営されています。平成26年度も引き続き、会員継続手続きとして下記の口座へ会費のお振込みをお願いします。新規会員申込手続きについては、下記問合せ先にご連絡をお願いします。

会費振込先 いちい信用金庫愛北営業部 普通預金 1016300

口座名義人 岩倉市国際交流協会 内藤和子

会費 1口1,000円とし、個人会員（家族会員）は3口以上、高校生以下はジュニア会員として1口、団体会員は10口以上です。

問合せ先 内藤 (0587-66-7347) 出野 (0587-37-2495) 竹安 (090-1230-2444)

会報 COM第81号 (2014年12月1日) 事務局 〒482-0021 岩倉市新柳町3-21-2 (内藤方)
 発行 岩倉市国際交流協会 TEL・FAX 0587-66-7347
 印刷 大橋印刷所 <http://www.iies.info/>